

B—54 モリヌーの作品について

福岡女学院短大 菊次 初子

1. クリスチャン・ディオールの研究に際して、彼がモリヌーの作品に1番多く影響をうけたと思うと、その著書に述べている。ディオールの婦人服に対する美意識の根源を探求するためにも、モリヌーの作品について考察したい。

2. 文献 Mode et travaux 1931~1936年その他。

3. ディオールが、デザイナーとして出発した1935年頃のパリの服飾界は、シャネル、スキヤパレリー、バランシャガなど多彩であった。その中で、英国人モリヌーの服は1見地味ではあるが、英国風のティラードな固さを生地、色彩、縫製等によって、パリ風に、柔らげられ、女らしくされて、上品な洗練された優雅なものであった。この追求によりディオールの婦人服に対する美意識の根源的なものが感受された。